

プログラム

第1日目 6月17日(金)

開会の辞 8:50～9:00 当番世話人：松島 綱治 東京大学大学院医学系研究科分子予防医学教室

シンポジウム1 9:00～11:00

座長：竹之下 誠一 福島県立医科大学医学部医学科 器官制御外科学講座
西山 正彦 埼玉医科大学 先端医療開発センター 国際医療センター
トランスレーショナル・リサーチセンター

[癌克服を目指した大学発トランスレーショナルリサーチ]

S1-1 RB に着目した新規癌分子診断システムと分子標的薬の開発

○酒井 敏行
京都府立医科大学 分子標的癌予防医学

S1-2 がんの免疫療法 ―基礎研究から POC 臨床試験へ―

○珠玖 洋
三重大学大学院医学系研究科 がんワクチン治療学 / 遺伝子・免疫細胞治療学

S1-3 テロメラーゼ活性を標的とするウイルス製剤の癌診断・治療への応用

○藤原 俊義¹⁾、浦田 泰生²⁾
1) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学、2) オンコリスバイオファーマ(株)

S1-4 HB-EGF を標的とした卵巣癌治療薬の開発

○宮本 新吾
福岡大学・医学部・産婦人科

ワークショップ1 11:10～12:10

座長：前原 喜彦 九州大学大学院医学研究院 消化器・総合外科(第2外科)
早田 邦康 自治医科大学医学部総合医学部門 総合医学第2講座 一般・消化器外科

[食成分と癌病態]

W1-1 脂肪酸の癌転移への影響

○國安 弘基、羅 奕、大森 齊、笹平 智則、千原 良友
奈良県立医科大学分子病理学

W1-2 ポリアミンが癌の転移におよぼす影響

○早田 邦康
自治医科大学附属さいたま医療センター 一般・消化器外科、循環器病臨床医学研究所

W1-3 多価不飽和脂肪酸(PUFA)の膵癌に対する影

○舟橋 整、竹山 廣光
名古屋市立大学消化器外科

W1-4 食品成分によるラット肝癌細胞の増殖・浸潤・転移と癌性脂質異常症の制御

○矢ヶ崎一三

東京農工大学 大学院農学研究院応用生命化学部門

ランチョンセミナー1 12:20～13:20

座長：小川 健治 東京女子医科大学 東医療センター 外科

[癌化学療法における支持療法]

共催：テルモ株式会社

L1-1 大腸癌化学療法における支持療法 ―新しいインフューザーポンプの使用経験―

吉松 和彦 東京女子医科大学東医療センター外科 准教授

共催：大鵬薬品工業株式会社

L1-2 がん化学療法における制吐療法の進歩

高石 官均 慶應義塾大学病院腫瘍センター 副センター長 専任講師

総 会 13:30～13:50

研究班報告 13:50～14:20

ワークショップ2 14:30～15:30

座長：橋本 真一 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 情報生命科学
隈元 謙介 埼玉医科大学 総合医療センター 消化管・一般外科

[癌の epigenetics と microRNA]

W2-1 消化管でみられる癌性糖鎖不全とエピゲノム異常

○河村 由紀¹⁾、豊田 実²⁾、橋本 真一³⁾、萩原 輝記¹⁾、山崎 元美¹⁾、
河村 裕⁴⁾、小西 文雄⁴⁾、斉藤 幸夫⁵⁾、服部 正平³⁾、土肥多恵子¹⁾

1) 国立国際医療研究センター 研究所 肝炎・免疫研究センター 消化器疾患研究部、
2) 札幌医科大学 生化学講座、3) 東京大学大学院 新領域、
4) 自治医科大学さいたま医療センター 外科、5) 国立国際医療研究センター 戸山病院 外科

W2-2 エピゲノム解析による造血器腫瘍の新たな分子標的の同定

○野島 正寛¹⁾、青木 由佳²⁾、安井 寛²⁾、鈴木 拓²⁾、高塚伸太郎³⁾、
石田 禎夫²⁾、森 満¹⁾、時野 隆至⁴⁾、篠村 恭久²⁾、豊田 実⁵⁾

1) 札幌医科大学医学部公衆衛生学講座、2) 札幌医科大学第一内科、
3) 札幌医科大学附属総合情報センター、4) 札幌医科大学附属がん研究所分子生物学部門、
5) 札幌医科大学分子生物学講座

W2-3 肺癌の発生と薬剤感受性に関与する miRNA 研究

○清家 正博

日本医科大学内科学講座呼吸器感染腫瘍部門

W2-4 ヒストン脱アセチル化阻害剤による癌細胞株の mRNA/miRNA 発現解析と DNA メチル化解析

○橋本 真一¹⁾、生越 克己¹⁾、菅野 純夫²⁾、森下 真一²⁾、松島 綱治¹⁾

1) 東大院医・分子予防医学、2) 東大・新領域創成科学

ワークショップ3 15:30～16:30

座長：安元 公正 社会医療法人財団 池友会 新小文字病院
垣見 和宏 東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター
免疫細胞治療学（メディネット）講座

〔腫瘍に対する免疫応答とその制御〕

W3-1 がん免疫エディティングと腫瘍拒絶のメカニズム

○松下 博和^{1,2)}、Robert D. Schreiber¹⁾、垣見 和宏²⁾

1) ワシントン大学医学部 病理 & 免疫学、

2) 東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター 免疫細胞治療学

W3-2 IL-17の発がん促進とがん免疫監視作用

○加藤 琢磨

三重大学大学院医学系研究科・病態解明医学講座・生体防御医学

W3-3 NK細胞の多様性と抗腫瘍免疫応答における役割

○早川 芳弘

東京大学 大学院 薬学系研究科 生体異物学教室、

東京大学グローバルCOEプログラム「学融合に基づく医療システムイノベーション」

W3-4 骨髄移植後の免疫不全と骨髄造血ニッチの破壊

○上羽 悟史¹⁾、Wang Yong¹⁾、横山 顕大¹⁾、庄野 雄介^{1,2)}、末永 文子¹⁾、
松島 綱治¹⁾

1) 東京大学大学院医学系研究科 分子予防医学教室、

2) 北海道大学大学院医学系研究科 血液内科学講座

W3-5 ハイパーサーミアによる癌免疫監視機構の再構築

○古倉 聡、岡山 哲也、足立 聡子、舟木 準、松本 次弘、岡嶋 学、
松山 竜三、坂井 宏美、坂元 直行、石川 剛、吉川 敏一

京都府立医大 消化器内科

特別講演 16:40～17:40

座長：松島 綱治 東京大学大学院医学系研究科分子予防医学教室

「癌の転移とメタプロテアーゼ」

清木 元治 東京大学医科学研究所 教授

座長：張ヶ谷健一 千葉大学大学院医学研究院 腫瘍病理学
樋口 肇 慶應義塾大学医学部 消化器内科

[Cancer stem cell & EMT]

S2-1 扁平上皮癌の浸潤能獲得機構における EMT の関与

○鎌田 伸之、東川晃一郎、飛梅 圭、奥井 岳
広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 顎口腔頸部医科学講座 口腔外科学分野

S2-2 分化型扁平上皮癌がん幹細胞の同定と機能解析

○落合 淳志^{1,2)}、厚海 菜穂²⁾、石井源一郎¹⁾
1) 国立がん研究センター東病院臨床開発センター臨床腫瘍病理部、
2) 東京大学大学院新領域創成科学研究科先端生命科学がん先端生命分野

S2-3 骨髄間葉系幹細胞による消化器癌幹細胞機能調節機構と EMT

○樋口 肇、樺嶋 彩乃、五十嵐 徹、日比 紀文
慶應義塾大学医学部消化器内科

S2-4 CD44-EGFR interaction regulates motility of cancer cells associated with the EMT

○張ヶ谷健一
千葉大学大学院医学研究院

[TGF- β シグナルによる EMT の制御]

宮園 浩平 東京大学大学院医学系研究科 教授

座長：岡 正朗 山口大学 大学院 消化器・腫瘍外科
吉松 和彦 東京女子医科大学東医療センター 外科

[Cancer & Inflammation]

W4-1 癌患者の栄養障害と免疫抑制における炎症の関連

○柴田 昌彦¹⁾、志村 龍男¹⁾、権田 憲士²⁾、桜井 健一³⁾、鈴木 聡²⁾、中村 泉²⁾、
大木 進司²⁾、竹之下誠一²⁾
1) 福島県立医科大学 腫瘍生体治療学、2) 同 器官制御外科学、3) 日本大学 外科学

W4-2 発癌における PGE2 関連酵素の役割

○宮本 陽¹⁾、吉松 和彦¹⁾、山口健太郎¹⁾、会澤 雅樹¹⁾、大谷 泰介¹⁾、小川 健治¹⁾、
Andrew J.Dannenberg²⁾
1) 東京女子医科大学東医療センター 外科、2) Weill Cornell Medical college

W4-3 HHM (Human Homologue of Maid) は肝発がんと線維化を制御する

○寺井 崇二、藤澤 浩一、高見 太郎、山本 直樹、坂井田 功
山口大学大学院医学系研究科消化器病態内科学

W4-4 潰瘍性大腸炎関連大腸癌における Vitamin D Receptor 発現の意義

○田中 浩明、前田 清、和田 光二、永原 央、野田 英児、天野 良亮、
久保 尚士、六車 一哉、八代 正和、山田 靖哉、澤田 鉄二、大平 雅一、
平川 弘聖
大阪市立大学 腫瘍外科

W4-5 炎症関連大腸発がんモデルおよび化学予防研究への活用

○安井由美子¹⁾、田中 卓二^{2,3,4)}
1) 酪農学園大・獣医・栄養生理学、2) 岐阜大・医・腫瘍病理、3) 金沢医大・腫瘍病理、
4) 東海細胞研究所

ランチョンセミナー2 12:10～13:10

共催：株式会社ヤクルト本社

座長：日比 紀文 慶應義塾大学医学部 消化器内科

「大腸癌術後補助化学療法の実践と展望」

吉野 孝之 国立がん研究センター東病院 消化管腫瘍科 消化管内科 医長

受領奨励研究報告・奨励研究賞候補演題 13:10～13:50

座長：松島 綱治 東京大学大学院医学系研究科分子予防医学教室

奨励-1 骨髄由来間葉系幹細胞による膀胱 SP 細胞への EMT 誘導と腫瘍形成能への影響

○樺嶋 彩乃^{1,3)}、樋口 肇¹⁾、船越 信介¹⁾、足立 雅之¹⁾、栗田 聡¹⁾、
五十嵐 徹¹⁾、高石 官均²⁾、日比 紀文¹⁾
1) 慶應義塾大学医学部消化器内科、2) 慶應義塾大学病院腫瘍センター、
3) 日本学術振興会特別研究員 (DC1)

奨励-2 K-ras 変異を伴う消化器癌におけるインスリン様増殖因子受容体を標的とした治療

○足立 靖
札幌医科大学 第一内科

奨励-3 乳癌における CADM1 遺伝子発現とその機能的役割の検討

○斎藤 元伸¹⁾、後藤 明輝²⁾、隈元 謙介^{1,3)}、大竹 徹¹⁾、村上 善則²⁾、
竹之下 誠一¹⁾
1) 福島県立医科大学 器官制御外科、2) 東京大学医科学研究所 人癌病因遺伝子分野、
3) 埼玉医科大学総合医療センター 消化管・一般外科

奨励-4 がん微小環境ネットワーク解析に基づく HGF/HB-EGF を軸とした胃癌標的治療法の開発

○安本 和生、川島 篤弘、矢野 聖二
金沢大学付属病院 がん高度先進治療センター

座長：松川 正明 昭和大学附属豊洲病院 内科
坂本 純一 名古屋大学大学院医学系研究科 社会生命科学講座
Young Leaders' Program 医療行政専攻

P1-01 大腸癌の Insulin-like growth factor 2 (IGF2) DMR のメチル化レベルとそれを標的とした個別化治療の可能性

- 能正 勝彦¹⁾、馬場 祥史²⁾、須河 恭敬¹⁾、鈴木 拓¹⁾、山本 博幸¹⁾、
足立 靖¹⁾、荻野 周史³⁾、篠村 恭久¹⁾
1) 札幌医科大学医学部 内科学第一講座、2) 熊本大学大学院生命科学研究部 消化器外科、
3) Dana-Farber Cancer Institute and Harvard Medical School

P1-02 上皮間葉転換 EMT を標的とした肺癌治療の開発

- 新谷 康、中桐 伴行、井上 匡美、澤端 章好、南 正人、奥村明之進
大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器外科学教室

P1-03 個別化医療へ向けた FFPE 組織からの前立腺癌新規マーカーの探索

- 木原 誠¹⁾、田中 直樹¹⁾、尾辻真紀子¹⁾、木村 高弘²⁾、鎌田 裕子³⁾、
山本 順啓²⁾、瀬川 晋²⁾、西村 俊秀¹⁾、加藤 治文⁴⁾
1) 株式会社 メディカル・プロテオスコープ、2) 東京慈恵会医科大学 泌尿器科、
3) 東京慈恵会医科大学 DNA 医学研究所 悪性腫瘍治療研究部、4) 新座志木中央総合病院

P1-04 HER2陽性 StageII/III および IV 胃癌切除症例では Trastuzumab の上乗せ効果を期待できるか？

- 大島 貴¹⁾、國崎 主税¹⁾、長谷川慎一¹⁾、五代 天偉¹⁾、佐藤 勉²⁾、
湯川 寛夫²⁾、藤井 正一¹⁾、利野 靖²⁾、益田 宗孝²⁾、今田 敏夫²⁾
1) 横浜市立大学 消化器病センター外科、2) 横浜市立大学 外科治療学

P1-05 腹膜播種がん微小環境からみた新規標的分子阻害による腫瘍制御

- 安本 和生¹⁾、山田 忠明¹⁾、川島 篤弘²⁾、矢野 聖二¹⁾
1) 金沢大学付属病院 がん高度先進治療センター、2) 金沢医療センター 臨床検査科

P1-06 胃癌腹膜播種性病変に対する胃切除術後・腹腔内温熱化学療法

- 小川 敦
群馬大学大学院 病態総合外科学

P1-07 B7-H1/PD-1 interaction をターゲットとした免疫療法

- 吉村 清、新藤芳太郎、渡邊 裕策、前田 祥成、亀井 滝二、前田 訓子、
山本 滋、吉野 茂文、裕 彰一、岡 正朗
山口大学 消化器・腫瘍外科

P1-08 HCC に対する HSP70 mRNA 導入樹状細胞療法第 I 相試験

- 前田 祥成、裕 彰一、爲佐 卓夫、新藤芳太郎、吉村 清、井上 由佳、
鈴木 伸明、坂本 和彦、吉野 茂文、岡 正朗
山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学

P1-09 非小細胞肺癌に対する $\gamma\delta$ T 細胞移入治療により抹消血中に蓄積された $\gamma\delta$ T 細胞の機能評価

- 近藤 篤^{1,2)}、藤枝 奈緒^{1,2)}、森下 岳晴^{1,2)}、近藤 真^{1,2)}、泉 謙道^{1,2)}、
前川 隆司²⁾、松下 博和¹⁾、垣見 和宏¹⁾
1) 東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療学 (メディネット) 講座、2) 株式会社メディネット

P1-10 抗 CD137 抗体併用による腫瘍特異的 CTL 移入治療の増強

○野地 秀一¹⁾²⁾、細井 亮宏¹⁾、竹田 和由³⁾、松下 博和¹⁾、瀬戸 泰之²⁾、垣見 和宏¹⁾

1) 東京大学大学院医学系研究科 免疫細胞治療学 (メディネット) 講座、
2) 東京大学大学院医学系研究科 消化管外科学講座、3) 順天堂大学医学部 免疫学講座

P1-11 活性化 NK 細胞によるがん幹細胞制御の可能性

○とう 学文¹⁾、賛田 美江¹⁾、照沼 裕^{1,2,3)}

1) 日本バイオセラピー研究所、2) 東京クリニック、3) 総合南東北病院

一般演題2 15:30～17:15

座長：松原 久裕 千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科
小林 国彦 埼玉医科大学国際医療センター 呼吸器内科

P2-01 末梢血サイトカインプロファイルからみた進行がん患者の機能障害に関する検討

○石川 剛¹⁾、古倉 聡¹⁾、坂元 直行²⁾、岡嶋 学¹⁾、松山 竜三¹⁾、坂井 宏実¹⁾、足立 聡子¹⁾、内藤 裕二¹⁾、宇野賀津子³⁾、吉川 敏一¹⁾

1) 京都府立医科大学大学院医学研究科 消化器内科学、2) 医聖会 百万遍クリニック、
3) ルイ・パストゥール医学研究センター

P2-02 ポリアミンによる抗腫瘍免疫抑制に関わる LFA-1 発現抑制と遺伝子プロモーターのメチル化の変化

○加納 良彦

自治医科大学 さいたま医療センター 外科

P2-03 悪性腫瘍におけるヒストンメチル基転移酵素 EZH2 による KLF2 の発現抑制とその臨床応用

○谷口 博昭¹⁾、山本 博幸²⁾、今井 浩三¹⁾

1) 東京大学医科学研究所、2) 札幌医科大学 医学部 内科学第一講座

P2-04 肺腺癌の手術検体における CCR7 mRNA 発現量での予後評価：CCR7 の CrkL と c-ABL の mRNA 発現量との関連について

○板倉 明司¹⁾、寺島 裕也³⁾、新行内雅人¹⁾、横井 左奈²⁾、松井由紀子¹⁾、飯笹 俊彦¹⁾、芳野 充¹⁾、木村 秀樹¹⁾、松島 綱治³⁾

1) 千葉県がんセンター 呼吸器科、2) 千葉県がんセンター 遺伝子診断開発研究部、
3) 東京大学医学部 分子予防医学教室

P2-05 新規アダプター蛋白質 Shf は ALK との結合を介して ALK 依存的生存シグナルを抑制する

○高木 大輔^{1,4)}、巽 康年¹⁾、高取 敦志^{1,2)}、上條 岳彦³⁾、近藤 知史⁴⁾、中川原 章¹⁾

1) 千葉県がんセンター研究所 がん先進治療開発研究室、
2) 千葉県がんセンター研究所 がん転移制御研究室、
3) 千葉県がんセンター研究所 発がん制御研究部、
4) 名古屋市立大学大学院医学研究科 腫瘍・免疫外科学

P2-06 食道扁平上皮癌におけるポドプラニン発現と上皮間葉移行 (EMT) との関連

○脇 啓一郎¹⁾、中島雄一郎²⁾、森田 勝¹⁾、北尾 洋之¹⁾、大賀 丈史¹⁾、徳永えり子¹⁾、掛地 吉弘¹⁾、辻谷 俊一¹⁾、鴻江 俊治¹⁾、前原 喜彦¹⁾

1) 九州大学大学院 消化器・総合外科学、2) 松山赤十字病院

P2-07 食道癌における microRNA-150 発現の臨床的意義

○横堀 武彦¹⁾、鈴木 茂正¹⁾、宮崎 達也¹⁾、宗田 真¹⁾、猪瀬 崇徳¹⁾、
田中 成岳¹⁾、中島 政信²⁾、福地 稔¹⁾、加藤 広行²⁾、桑野 博行¹⁾

1) 群馬大学大学院 病態総合外科 (第一外科)、2) 獨協医科大学 第一外科

P2-08 食道扁平上皮癌細胞における HMGB1 発現の検討

○池田 憲政、阿久津泰典、首藤 潔彦、羽成 直行、森 幹人、星野 敢、
竹下 修由、宮澤 幸正、秋元 亜樹、松原 久裕

千葉大学医学研究院 先端応用外科

P2-09 肝細胞癌と AGEs

○澤田登起彦¹⁾、朴 景華¹⁾、竹内 正義²⁾、窪田 敬一¹⁾

1) 獨協医科大学 第二外科、2) 北陸大学

P2-10 膵 IPMN の癌化における EZH2 と microRNA-101 の関与

○中原 修、高森 啓史、生田 義明、別府 透、馬場 秀夫

熊本大学大学院 消化器外科学

P2-11 低酸素およびポリアミン代謝によるメチル化の変化と大腸癌細胞の転移・浸潤能に関する検討

○辻仲 真康¹⁾、早田 邦康¹⁾²⁾、加納 良彦¹⁾、小西 文雄¹⁾

1) 自治医科大学附属さいたま医療センター 一般消化器外科、

2) 自治医科大学附属さいたま医療センター 循環器病臨床研究所

P2-12 大腸癌浸潤部における hMena およびそのバリエーション分子の発現についての解析

○豊田 亮彦¹⁾、吉田 裕^{1,2)}、田中 顕之^{1,2)}、齋藤 光芳^{1,3)}、横田 亜矢⁴⁾、
東 守洋⁵⁾、川名 秀忠⁴⁾、北川 元生¹⁾、鈴木 良夫²⁾、張ヶ谷健一¹⁾

1) 千葉大学大学院医学研究院 腫瘍病理学教室、2) 国保旭中央病院 臨床病理科、

3) 日本大学 生物資源学部 獣医学科 獣医薬理学研究室、4) 千葉県がんセンター 病理部、

5) 埼玉医科大学総合医療センター 病理部

P2-13 Anoxia/reoxygenation 刺激は大腸癌細胞株の E-cadherin 発現を低下させる

○岡嶋 学¹⁾、古倉 聡¹⁾、石川 剛¹⁾、松山 竜三¹⁾、松本 次弘¹⁾、
舟木 準¹⁾、足立 聡子¹⁾、坂元 直行²⁾、内藤 裕二¹⁾、吉川 敏一¹⁾

1) 京都府立医科大学 消化器内科学、2) 医聖会 百万遍クリニック

座長：森下 鉄夫 東京歯科大学市川総合病院 内科
杉田 稔 東邦大学医学部 社会医学講座 衛生学

症例-1 原発巣・肝転移巣切除後の結腸癌のリンパ節再発に対して放射線療法および TS-1 にて CR が得られた 1 例

○杉山 太郎
岐阜県総合医療センター

症例-2 内視鏡生検組織由来消化器癌細胞の長期培養の試み

○五十嵐 徹、樋口 肇、船越 信介、足立 雅之、栗田 聡、樺嶋 彩乃、
中村 公子、木下 武士、高石 官均、日比 紀文
慶應義塾大学医学部消化器内科

症例-3 NY-ESO-1f ペプチドワクチン治療経験から見た RECIST ガイドラインと immune-related response criteria

○垣見 和宏^{1,2)}、中島 淳²⁾、村川 知弘²⁾、吉田 幸弘²⁾、坂本 美紀²⁾、
村山 智紀²⁾、松下 博和^{1,2)}、和田 尚³⁾、中山 睿一⁴⁾
1) 東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療学 (メディネット) 講座、
2) 東京大学医学部附属病院 呼吸器外科、3) 大阪大学医学部 消化器外科、
4) 川崎医療福祉大学 医療福祉学部

症例-4 S-1/CPT-11 療法が著効した進行再発大腸癌の 2 例

○中山 真緒、吉松 和彦、横溝 肇、大谷 泰介、大澤 岳史、小川 健治
東京女子医科大学東医療センター外科